

科目名		社会科学I (Social Sciences I)								
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第5学年	機械工学科 制御情報工学科 経営情報学科	学修	1単位	必修	講義	前期 100分/週	45時間			
担 当 教 員		【非常勤】 村田 貴信 (【副担当】 高橋 正和)								
学 習 到 達 目 標										
科目の到達 目標レベル		科学技術が人間の生に突きつけている具体的な諸問題をたどりながら、歴史や自然、社会や世界、そしてなによりもまず自分自身について、立ちどまって見つめなおしてみることを通じて、以下三点の達成を目指す。 (1) 哲学(倫理学)の対象と方法とにかんする基礎的な理解を得る。 (2) ものごとを広く(多面的に)深く(根源的に)考えることの意味と意義とを理解する。 (3) 科学技術が直接間接に惹起するいくつかの倫理的諸問題の考察を通じて、科学技術を柱とする近代合理性に染めあげられた時代と社会のただなかで「善く生きる」ために必要な反省を試みしてみる。								
学習・教育目標		(F)③④		JABEE基準1(2)		(a)				
関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材										
関連科目		社会科学II								
教科書		「科学技術と倫理」石田三千雄他著(ナカニシヤ出版)								
補助教材等		「倫理・哲学概論」松島隆裕編(学術図書出版)								
達 成 度 評 価 (%)										
評価方法 指標と評価割合		中間 試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合					100					100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】					○					/
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】					◎					
汎用的技能 【コミュニケーションスキル】					○					
態度・志向性(人間力) 【 】										
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】										
学 習 上 の 留 意 点 お よ び 学 習 上 の 助 言										
レポート作成時に辞書を使用したい場合は紙の辞書を用意すること。										

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	導入	「学習到達目標」の把握	教科書の通読
2	科学技術と現代社会(1)	「現代」という時代の考察	教科書、まえがきの精読
3	科学技術と現代社会(2)	科学技術と現代社会との関係の考察	教科書、まえがきの精読
4	科学技術と倫理(1)	科学技術の史的展開に応じた倫理的反省の変容の理解	教科書、第I部の精読
5	科学技術と倫理(2)	人間として考えることと科学技術者として考えることとの比較考察	教科書、第I部の精読
6	科学技術と人間	人間が人間であることと科学技術との関係の考察	教科書、第II部の精読
7	前半授業内容の総括 レポート作成(第1回目)	課題の的確な把握 論理的な議論展開 判明な表現	教科書の再読
8	近代合理性と科学技術(1)	近代合理性と科学技術との関係の理解	教科書、第III部の精読
9	近代合理性と科学技術(2)	「啓蒙」的理性の考察	教科書、第III部の精読
10	応用倫理学の倫理性(1)	科学の普遍性と倫理の普遍性との比較考察	教科書、第IV部の精読
11	応用倫理学の倫理性(2)	自己理解と他者理解との比較考察	教科書、第IV部の精読
12	科学技術と公共性(1)	市民であることと科学技術者であることとの比較考察	教科書、第V部の精読
13	科学技術と公共性(2)	合意形成の考察	教科書、第V部の精読
14	後半授業内容の総括 レポート作成(第2回目)	課題の的確な把握 論理的な議論展開 判明な表現	教科書の再読
15	作成レポートの総評 授業改善アンケートの実施	「学習到達目標」の再考 論理と表現とへの反省	
総 学 習 時 間 数			45時間
講 義			25時間
自学自習			20時間